

シニアとシルバーエイジのための 安心なインターネットの歩き方

操作編

文部科学省 H22 年度 ICT の活用による生涯学習支援事業

一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構
平成 23 年 3 月

文部科学省 平成 22 年度

「ICT の活用による生涯学習支援事業（国内における実証的調査研究）」

事業名 「自分の住む地域の魅力を再発見する『地域まるごと博物館』活動と連携したインターネット活用能力育成プログラムの開発に関する調査研究」

調査研究委員会

主 査	坂元 章	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究所教授
副主査	齋藤 長行	青山学院大学総合研究所 e ラーニング人材育成研究センター 客員研究員
委 員	水野 哲	千葉県南房総市観光プロモーション課
委 員	山根 信二	青山学院大学総合研究所 e ラーニング人材育成研究センター 客員研究員
委 員	八塚 絵里	みらい FACTORY 代表
委 員	田中 絵麻	早稲田大学総合研究機構 デジタル・ソサエティ研究所
委 員	中野 理恵子	メディアアート株式会社/メディア開発部長

運営事務局

相磯 秀夫	一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構 代表理事
松原 卓	一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構 代表理事付
前川 巖	一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構 事務局長
西澤 利治	一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構 事務局

目次

操作編

事業のねらい.....	1
はじめに.....	2
マウス操作の基本.....	3
テキストの使い方.....	4
第1章 Webページの閲覧.....	5
1.1 インターネットサービス.....	5
1.2 Webブラウザの起動.....	6
1.3 Webページの閲覧の操作.....	8
1.4 地域住民向けWebページの閲覧.....	15
第2章 検索.....	20
2.1 Webページの検索.....	20
2.2 画像検索.....	24
第3章 情報の利用.....	26
3.1 写真情報の収集.....	26
第4章 情報の発信.....	31
4.1 投稿画面の作成.....	31
4.2 投稿結果の確認.....	35
4.3 投稿記事の変更.....	36
4.4 投稿記事の削除.....	37
参考資料.....	38
1 写真の取り込み.....	39
2 文字入力.....	43
3 スキルマップについて.....	52
4 教材で扱っているスキル.....	56

事業のねらい

この事業は、シニアやシルバーの方々を対象に、インターネットを日常生活で活用するための基本的な能力や知識を身に付けることを目的としています。シニアとは定年退職後のおおよそ 65 歳までの方、シルバーとはおおよそ 65 歳より年配の方を想定していますが、別の言い方をすれば、現役時代にパソコンやインターネットが実用化されるようになった最初の世代向けでもあります。定年退職者や家業の一線を退いたシニアやシルバーの方々が、楽しみながらインターネットを活用して、より快適な生活を送れるようにするための力を身につけることを目的としています。

シニアやシルバーの方々の中には、「インターネットなしでも生活に困らない」という人もいらっしゃるかもしれませんが、インターネットを活用すれば、生活が豊かになる場面が数多くあります。インターネットには同じ趣味を持つ人や同じ考えを持つ人が交流するさまざまなコミュニティが開かれています。こうしたコミュニティを出会いの場として利用することで、新たな人とのつながりが形成され、新しい刺激を得て生活に活力が生まれます。

多くの地方自治体は、地域住民向けに地域の各種情報を発信する地域ポータルや市民が交流するソーシャルネットワーキングサービス（地域 SNS）を開設しています。こうしたサービスを利用すれば、自分の住む地域の魅力を再発見することができるでしょう。

本事業では、全面的に千葉県南房総市の協力を得て、南房総市が地域住民向けに設置している Web サイト「南房総いいとこどり」を教材として使用することにより、シニアやシルバーの方々が、実際に Web サイトを操作して、インターネットで地域の情報を受発信する能力を実践的に身につけることができる形としました。

さらに、南房総市で本教材を使用したシニアやシルバーの方々を対象とするテスト研修を実施して意見をお聞きし、そこで得られた知見や評価を元に、教材を改善することができました。

さらに本事業では、インターネットを利用する際にひとりでも多くのシニアやシルバーの方が、インターネットを活用することによって、豊かなセカンドライフを実現されることをお祈り申し上げます。

はじめに

この冊子は、シニアやシルバーの方々がインターネットを日常生活で利用する際に必要となる基本的な能力や知識を身に付けることを目標にした研修教材です。インターネットを利用する際に必要な基本的な能力や知識のことを「情報リテラシー」と呼びます。情報リテラシーとは、いわばインターネット時代における読み書きソロバンができることなのです。

この冊子を使用し、Web ページを閲覧し、インターネットから情報を収集し、情報を検索し、インターネットから情報を発信するための操作を学びましょう。

第 1 章では、Web ページの閲覧方法について学びます。実際に、Web ブラウザを立ち上げ、地域の人々が情報交換する Web ページを閲覧します。

第 2 章では、Web ページの検索や画像検索の方法を学びます。

第 3 章では、インターネット上の写真情報について収集の方法を学びます。

第 4 章では、情報の発信について学び、実際に投稿記事を作成します。

また、参考資料として、写真の取り込み方法と文字入力の方法を用意しました。

研修では、講師の説明を聞きながら、手順に従って操作します。操作手順と画面が対応して表示されているので、わかりやすいのが特徴です。

また、教材の最後に「参考資料」として、インターネットを活用する能力をまとめた「スキルマップ」と、このテキストで扱っているスキルの関連を明らかにしました。研修では扱わなかった項目については、別に「読み物編」教材を用意しました。

この研修教材を通じて、シニアやシルバーの方々が日常的にインターネットを活用するようになれることを願っております。

知的財産権について

- 本教材に使用した「南房総いいとこどり」は、千葉県南房総市が管理・運営する Web サイトです。「南房総いいとこどり」に関連する画像は、南房総市の許諾を受けて掲載しています。「南房総いいとこどり」サイト、およびそこに掲載されたコンテンツの知的財産権は、南房総市が管理しています。
- その他、本教材で引用したインターネットのサイトは、それぞれの企業が知的財産権を有しています。

マウス操作の基本

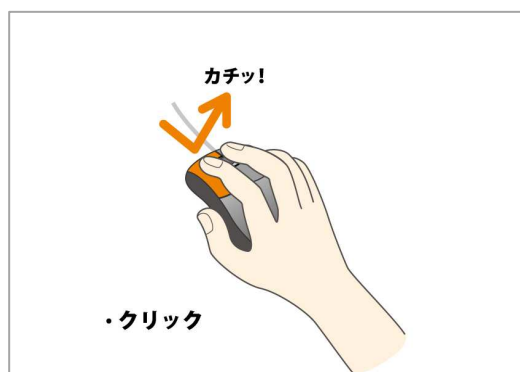
パソコンの操作の初心者で、マウスの操作に慣れていない方は、まずマウス操作を練習しましょう。

マウスを動かすと、画面のマウスポインタが連動して動きます。

マウスの操作は大きく分けて3つの方法があります。

クリック

人さし指でマウスの左側のボタンを「カチッ」と押してすぐに離すのが「クリック」です。画面上のアイコンやボタンを選択したり、他のページに移動したりするときに使います。



ダブルクリック

人さし指でマウスの左側のボタンを「カチカチッ」と2回続けて押す操作を「ダブルクリック」といいます。

ファイルやフォルダを開いたり、ソフトウェアを立ち上げたりするときに使います。



ドラッグ

マウスのボタンを押したままで、マウスを移動するのが「ドラッグ」です。

アイコンを移動したり、範囲選択したり、スクロールバーを動かしたりするときに使います。ドラッグして、机の端まできたら、マウスを持ち上げて戻します。



<参考>ホイール

マウスには、ボタンの他に指先で回転させる「ホイール」もあります。ホイールを回転させて画面を上下に移動させます。



テキストの使い方

このテキストは、研修会で使用しますが、ご自宅で復習するときにもご参照ください。

アイコンについて



操作説明

このマークが表示されたところでは、操作について説明します。操作手順の番号に従って、操作してください。説明文の図版の番号は、操作手順の番号と一致しています。



実 習

このマークが表示されたところでは、みなさんが自由に操作して練習してください。

P ポイント

このマークが表示されたところでは、ワンポイントアドバイスを記しています。

! キーワード

このマークが表示されたところでは、言葉の意味を分かりやすく解説しています。

本教材では、以下の環境に基づいて解説を行っています。

OS : Windows XP SP3 バージョン 5.1

Web ブラウザ : Internet Explorer バージョン 8

OS の種類、Web ブラウザの種類あるいは使用されるパソコンの設定によって表示が異なる場合があります。